

(申請書の記載方法：作業道以外の場合)

1 本文中の () 内

立竹を伐採、立木を損傷、家畜を放牧、下草を採取、落葉を採取、落枝を採取、土石を採掘、樹根を採掘、開墾、土地の形質を変更、の区分で記載すること。

2 森林(土地)の所在場所

複数の筆があり全筆が記載できない場合には、代表地番及び「ほか〇筆」と記載するとともに、「明細は別紙のとおり」と併記し、任意様式に所在場所の全部並びに各筆ごとの申請面積及び計を記載して添付すること。

3 保安林の指定の目的

水源のかん養、土砂の流出の防備、土砂の崩壊の防備、飛砂の防備、風害の防備、水害の防備、潮害の防備、干害の防備、雪害の防備、霧害の防備、なだれの危険の防止、落石の危険の防止、火災の防備、魚つき、航行の目標の保存、公衆の保健、名所又は旧跡の風致の保存、の区分で記載すること。

4 行為の方法

(1) 目的

ア 土地の形質の変更以外の場合

立竹の伐採、立木の損傷、家畜の放牧、下草の採取、落葉の採取、落枝の採取、の区分により記載しその理由を「〇〇のため」と併記すること。

イ 土地の形質の変更の場合

土石の採掘、樹根の採掘、開墾、土砂の堆積、林道の開設、作業道の開設、仮設工作物の設置等、具体的に記載しその理由を「〇〇のため」と併記すること。

なお、保安林解除に係るものの理由は、「保安林の代替施設の設置等のため」と記載すること。

(2) 内容

ア 立竹の伐採の場合：立竹の年齢、束数

イ 立木の損傷の場合：樹種、年齢、本数

ウ 家畜の放牧の場合：家畜の種類、頭数、管理方法

エ 下草、落葉又は落枝の採取の場合：採取物の種類、数量、採取方法

オ 土石又は樹根の採掘の場合：土石の種類、樹根の樹種、採掘の方法、数量

カ 開墾の場合：方法

キ 土地の形質の変更(土石又は樹根の採掘並びに開墾以外)の場合：幅員、延長、主たる構造物等

(3) 面積

・実測により、申請行為に係る合計面積をヘクタール単位で少数第4位まで記載すること。

5 期間

(1) 始期：年月日又は「許可の日から」等と記載すること。

(2) 終期：年月日又は「許可から〇年(箇月)以内」等と記載すること。

6 備考

- ・補助事業の場合は、事業名、補助区分(国庫、県単、町単)
- ・保安林解除に係るもの場合は、解除予定告示年月日及び番号
- ・保安林解除に係らない場合は、使用目的達成後の取扱い、森林への復旧方法等
- ・その他参考となるべき事項

(申請書の記載方法：作業道の場合)

1 森林(土地)の所在場所

複数の筆があり全筆が記載できない場合には、「代表地番及びほか〇筆」と記載するとともに、「明細は別紙のとおり」と併記し、任意様式に所在場所の全部並びに各筆ごとの申請面積及び計を記載して添付すること。

2 保安林の指定の目的

水源のかん養、土砂の流出の防備、土砂の崩壊の防備、飛砂の防備、風害の防備、水害の防備、潮害の防備、干害の防備、雪害の防備、霧害の防備、なだれの危険の防止、落石の危険の防止、火災の防備、魚つき、航行の目標の保存、公衆の保健、名所又は旧跡の風致の保存、の区分で記載すること。

3 行為の方法

(1) 内容

幅員、延長、主たる構造物等を記載すること。

(2) 面積

実測により、申請行為に係る合計面積をha単位で少数第4位まで記載すること。

4 期間

(1) 始 期：年月日又は「許可の日から」等と記載すること。

(2) 終 期：年月日又は「許可から〇年(箇月)以内」等と記載すること。

5 当該保安林に係る他者の権利

複数の筆があり全筆の権利及び権利者等が記載出来ない場合には、森林(土地)の所在場所明細に記載すること。

(1) 申請者が土地所有者である場合

所有権以外の権利(抵当権等)の有無を記載し、有の場合は権利の種類と権利者の住所・氏名を記載すること。

(2) 申請者が土地所有者でない場合

土地に関する権利の種類及び権利者の住所・氏名をすべて記載すること。

6 備考

- ・補助事業の場合は、事業名、補助区分(国庫、県単、町単)
 - ・使用目的達成後の取扱い、森林への復旧方法等
 - ・その他参考となるべき事項
- を記載すること。